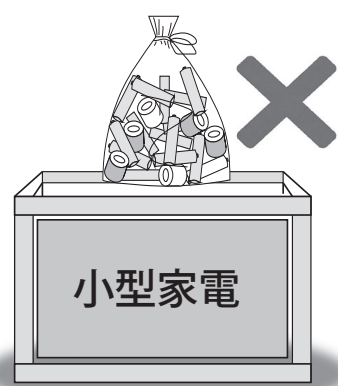


分ければ資源 ごみの分別

問合せ 環境下水道係
☎82-6132

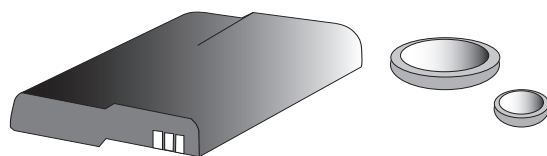
○乾電池をまとめて入れた袋が、家電のコンテナに入っていた



乾電池は乾電池ボックスへ

乾電池は、ごみステーションには出せません。各公民館に設置してある乾電池ボックスに入れてください。また、家電量販店など、リサイクル協力店でも引き取ってもらえます。

充電式電池、ボタン電池（水銀含む）は、公民館では受け入れません。家電量販店など、リサイクル協力店に出してください。



充電式電池、ボタン電池はリサイクル協力店へ

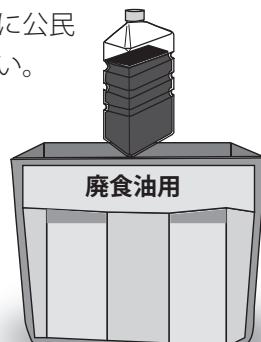
○電球や蛍光灯は公民館に設置されたボックスへ（毎月第1・3水曜日）

公民館の乾電池コンテナの中に、電球や蛍光灯、廃食用油が入っていました。

電球や蛍光灯、廃食用油は、毎月第1・3水曜日に公民館に設置される指定の回収ボックスに入れてください。



廃蛍光灯



廃食用油

たてばやしクリーンセンターに持ち込めるもの

- 可燃性ごみ**
生ごみ スニーカー 革靴 紙おむつ 布、皮、ビニールバッグ
せん定枝（太さ10cm以内 長さ2m以内）
- 可燃性粗大ごみ（金属、ガラスのないもの）**
布団類 座布団 机 棚 たたみ カーペット じゅうたん
ふすま ベニヤ板 タンス いす スポンジマットレスなど
- 受入日** 祝日を除く月～金曜日（午前8時30分～午後4時30分）
土曜日（午前8時30分～11時30分）

いたくらリサイクルセンターに持ち込めるもの

- 不燃物・不燃性粗大ごみ（金属類、ガラス類、陶器類）**
自転車 スプリングマットレス フライパン 鍋 ガスコンロ
こたつ ストープ ソファ ガラステーブル スキー用品
マッサージチェア 座椅子 スチールラック ベビーカーなど
- 資源ごみ**
古紙類 容器包装プラスチック 毛布 ペットボトル かん
びん 蛍光灯 乾電池 プラスチックなど
- 受入日** 祝日を除く月～金曜日（午前8時30分～午後4時30分）
土曜日（午前8時30分～11時30分）

「自分だけなら大したことないだろう」「少しだけなら大丈夫だろう」と安易に行動せず、ごみを出したあとも、多くの人が関わっていることを思い、一人ひとりがごみ出しのルールを守ること、地域の皆さんが気持ちよくごみステーションを利用できるようにしましょう。

資源ごみは、指定された日の朝8時30分までに出してください。しっかりと分別され、きれいに保たれたごみステーションは、気持ちのよいものです。最近一部のごみステーションで、さまざまなごみの混在が見られます。ごみの混在は、収集する際の作業に余計な手間や費用がかかり、収集の遅れにもつながります。収集が遅れは、ごみステーションが荒れてしまう悪循環を生み出します。

荒れた場所を最終的に片付けていただいているのは、地域の役員さんであったり、アパートの管理人さんということになります。

一人ひとりが分別意識を

最近、分別が間違っていたり、ごみステーションでは回収しない粗大ごみが出されていたりすることで、行政区の役員さんや、収集業者から報告を受けることが多くなっています。

ごみは、きちんと分別すると資源になります。実際の例をあげて、ごみの分け方、出し方を紹介します。

○段ボールの中に新聞、雑誌、雑がみが混在

新聞、雑誌、段ボール、雑がみはそれぞれ別のリサイクル資源です。種類ごとに束ねて、資源ごみの日にごみステーションに出しましょう。

※「雑がみ」はお菓子の箱などコーティング加工されていない、その他の紙のことです。



雑誌類

新聞紙

段ボール

チラシ

雑がみ

○1つの袋にペットボトルと空き缶が混在

ペットボトルはキャップとラベルをはずして、中をすすぎ、つぶしてから資源ごみの日に出します。はずしたキャップとラベルは、容器包装プラスチックとして資源ごみの日に出すことができます。

空き缶は中身が入ったままのものも見受けられます。中身を出して、すすいでから「かん」として出してください。

「びん」も中をすすいでから出してください。金属のふたは「かん」で出してください。



キャップとラベルをはがす

中をすすぐ

○米袋に入れて陶磁器やコップが出されていた

陶磁器やガラス製のコップをごみステーションに出す場合は「危険物」として出してください。

割れてしまって危険なものは、紙で包むなど工夫してから、透明または半透明の袋に入れて、資源ごみの日に出してください。



透明か半透明の袋に入れてください